学校番号	３１２

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第２学年	・Vivid English CommunicationⅡ ・フレーズで英単語 3000 ・フレーズで英単語 4500 ・Voice Listening Course 3 ・Voice Listening Course 4 ・Rapid Reading Level 1 ・Jet Reading Level 1

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

引き続き、英語はスポーツであるという考えを基に、オーバーラッピングやシャドウィングを駆使して、リプロダクションやリテリングを行います。

コミュニケーション英語Ⅱは「話すこと（アウトプット）」「書くこと」、「聞くこと（インプット）」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。今年は、英語そのものに慣れ親しみながら、「思い・考えたことを、話したり・書いたりする」という、１つ上の言語活動を多く行います。授業では活動に積極的に参加しましょう。

英語の語彙や文法については、特に語順に注意を払い、インプット・アオウトプット共に、段階を踏んで力を上げていきます。英語の情報・意味を伝える語順を身体に染み込ませ、話し・書くという練習をします。

音読は外国語学習の中でとても大切な練習のひとつです。IC レコーダーを頻用し、英語のリズムやイントネーションに気をつけ、イメージをもちながら、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）
及び「英語表現Ⅰ」（３単位）
主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・日常的な挨拶ができ、身の回りの出来事や経験したことについてリズムやイントネーション、文法の規則に従って、基礎的な語彙を使いながらやり取りすることができる。	コミュニケーション英語Ⅱ･英語表現Ⅰ スピーキングテスト	・文法の規則に従って、簡単な語や基礎的な表現を使って、家族のことや学校生活について複数の短い文を書くことができる。	コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ ペーパーテスト レポート	・ゆっくりとはっきりと話されれば、天候、駅のアナウンス、時間、物の値段などの必要な情報を聞き取り、ポイントを書き取ることがでる。	コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ リスニングテスト	・簡単な語彙や表現で書かれた短い物語を読み、概略やあらすじを適切に理解することができる。	コミュニケーション英語Ⅱ･英語表現Ⅰ レポート

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を明確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に判断できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (11 時間)	街に数多く存在する標識の作用について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・様々な場所で見られる標識の役割とその作用について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・様々な場所で見られる標識の役割とその作用について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・進行形 ・S+V+C(現在分詞・過去分詞) ・seem to～ を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・進行形 ・S+V+C(現在分詞・過去分詞) ・seem to～ を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 2 (11 時間)	TV でおなじみのパックンへの外国語習得に関するインタビュー。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・本文を参考に、自分の英語学習法について話す。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・本文を参考に、自分の英語学習法について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、本文を参考に、自分の英語学習法について話したり書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・スピーチ原稿を提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・パックンのインタビューを通じて、日米の「笑い」の違いや、外国語学習のコツついて、読んだことを理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・パックンのインタビューを通じて、日米の「笑い」の違いや、外国語学習のコツついて、読んだことを理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・It is …(for A) to ～ ・S+V+it+C+to ～ ・All you have to do is (to)～ 理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・ It is …(for A) to ～ ・S+V+it+C+to ～ ・All you have to do is (to)～ 理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (11 時間)	単なる遊戯としてだけではなく、様々なことに応用されている現代の折り紙について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・折り紙の歴史や、現代の折り紙技術についての英文を読んで、その内容を理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・折り紙の歴史や、現代の折り紙技術についての英文を読んで、その内容を理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・It is+形容詞+that 節 ・S+V+it+C+that 節 ・S+V+O+O(=名詞節) を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・ It is+形容詞+that 節 ・S+V+it+C+that 節 ・S+V+O+O(=名詞節) を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 4 (11 時間)	言葉遊びと、様々な国における幸運な数字と不運な数字、文化背景について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・国によって異なる、幸不幸を表す数字とその背景について、まとめ、話す。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う ・国によって異なる、幸不幸を表す数字とその背景について、まとめ、伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、読んだ内容に基づいて、国によって異なる、幸不幸を表す数字とその背景について、話したり書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・言語から派生した数字が表す幸不幸や、文化的背景について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・言語から派生した数字が表す幸不幸や、文化的背景について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の制限用法 ・関係代名詞の非制限用法 ・完了形 ・完了形(受け身) を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・関係代名詞の制限用法 ・関係代名詞の非制限用法 ・完了形 ・完了形(受け身) を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (11 時間)	医療分野で研究されている内視鏡技術とカプセル型ロボットの利点と欠点、発展について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・カプセル型ロボットの特徴と性能、今後の展望ついて、読んだことを理解する。	・カプセル型ロボットの特徴と性能、今後の展望ついて、セクションごとに内容を理解する。	・カプセル型ロボットの特徴と性能、今後の展望ついて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・群動詞(受け身) ・進行形(受け身) ・関係副詞の制限用法 ・関係副詞の非制限用法 を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・群動詞(受け身) ・進行形(受け身) ・関係副詞の制限用法 ・関係副詞の非制限用法 を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 6 (11 時間)	小笠原諸島の世界遺産登録の背景と、ガラパゴス諸島の事例から得られる教訓、環境保護のための取り組みについて。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・環境保護に対する自分たちの役割と責任について話す。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・環境保護に対する自分たちの役割と責任について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用い、読んだ内容に基づいて、環境保護に対する自分達の役割と責任について、自分の考えを話したり書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・小笠原諸島の世界遺産登録の背景と自然保護について、読んだことを理解する。	・小笠原諸島の世界遺産登録の背景と自然保護について、セクションごとに内容を理解する。	・小笠原諸島の世界遺産登録の背景と自然保護について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「時」や「理由」などを表す副詞節 ・分詞構文(＝現在分詞) ・「推量」を表す助動詞 ・助動詞+have+過去分詞 を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・「時」や「理由」などを表す副詞節 ・分詞構文(＝現在分詞) ・「推量」を表す助動詞 ・助動詞+have+過去分詞 を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (11 時間)	ジョン万次郎がアメリカへ渡り、日米の架け橋としてどのような役割を果たしたかについて。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・万次郎がアメリカに渡った経緯、日本に与えた影響について、読んだことを理解する。	・万次郎がアメリカに渡った経緯、日本に与えた影響について、セクションごとに内容を理解する。	・万次郎がアメリカに渡った経緯、日本に与えた影響について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「時」や「理由」などを表す副詞節 ・分詞構文(＝過去分詞) ・関係代名詞…前置詞 ・前置詞＋関係代名詞 を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・「時」や「理由」などを表す副詞節 ・分詞構文(＝過去分詞) ・関係代名詞…前置詞 ・前置詞＋関係代名詞 を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 (11 時間)	従来の交通機関の問題点や、LRTの利点とその導入について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・LRT について学びながら、環境にも人にも優しい交通機関について、自分の考えを書きだし、話をする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・ LRT について学びながら、環境にも人にも優しい交通機関について、自分と意見をグループ内で発表し合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、読んだ内容に基づいて、 LRT について学びながら、環境にも人にも優しい交通機関について、自分の考えを話したり書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・従来の交通機関の問題点や、LRT の特徴、LRT 導入の取り組みなど、読んだことを理解する。	・従来の交通機関の問題点や、LRT の特徴、LRT 導入の取り組みなど、イメージとともにセクションごとに内容を理解する。	・従来の交通機関の問題点や、LRT の特徴、LRT 導入の取り組みなど、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去 ・S+V+O+C(=原形不定詞、現在分詞) ・ S+V+O+C(=過去分詞) ・同格の that を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・仮定法過去 ・S+V+O+C(=原形不定詞、現在分詞) ・ S+V+O+C(=過去分詞) ・同格の that を理解する。**	・ 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (11 時間)	2003 年からアフガニスタンの武装解除を行った瀬谷ルミ子さんの活動について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・自分が平和のためにできることについてまとめ、友達と共有する。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・自分が平和のためにできることについてまとめ、友達と共有し、発表し合う。	・自分が平和のためにできることについて、知っている語彙や文法を使って、適切に書き、発表することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・武装解除のための取り組みや、瀬谷ルミ子さんの生き様について、読んだことを理解する。	・武装解除のための取り組みや、瀬谷ルミ子さんの生き様について読み、理解する。	・武装解除のための取り組みや、瀬谷ルミ子さんの生き様について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・have[get]+O+過去分詞 **・完了不定詞** **・仮定法過去完了** **・ 省略** **を理解する。**	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・have[get]+O+過去分詞** **・完了不定詞** **・仮定法過去完了** **・ 省略** **を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 10 (11 時間)	インダストリアルデザイナー榮久庵憲司さんのデザインの特徴について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・榮久庵憲司さんの考え方や功績について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、榮久庵憲司さんの考え方や功績ついて読み、イメージとともに理解する。	・榮久庵憲司さんの考え方や功績について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・倒置 **・分詞構文(完了形)** **・as if+仮定法** **・ 複合関係詞** **を理解する。**	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・倒置** **・分詞構文(完了形)** **・as if+仮定法** **・ 複合関係詞** **を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。